

あけぼのすぎ

都立府中療育センター新聞 第440号 発行日 平成26年7月31日

平成26年度 第1回医療事故予防研修

医療社会事業担当係 島津 芙美



7月25日（金）、あじさい館多目的室にて平成26年度第1回医療事故予防研修が行われ、多数の職員が参加しました。

研修の講師を務めていただいたのは、東日本旅客鉄道（株）安全企画部の丸山哲夫先生です。「JR東日本の安全性向上の取組み」というテーマで2時間にわたり、講義を行っていただきました。

JR東日本と府中療育センター、一見共通点が少なそうにも感じますが、丸山先生の講義の中では、「他山の石の活用」というワードが頻出しており、他の分野の事例であっても事故の原因を追究することで自らも事故を防ぐことが可能であるということでした。社員約6万人、1日当たりのお客様が1,685万人という大企業であるJR東日本がどのように事故防止に取り組んでいるか、府中療育センターにとって大変参考になるものでした。

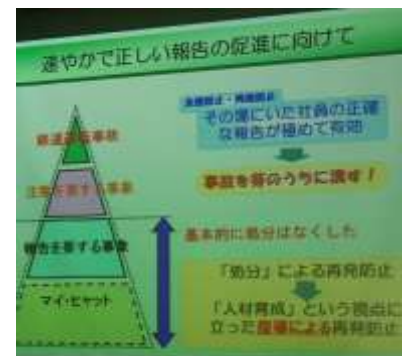


丸山先生には「指差喚呼」も実演していただきました

JR東日本の事故防止の取組みとして強い印象を受けたものは、やはり「指差喚呼」でした。駅のホームでは必ず駅員さんが、電車侵入時や電車発車時に指差と喚呼によって安全の確認を行っている姿を目にします。この指差喚呼を行うことにより、視線が対象にとどまりやすくなる。喚呼によりヒューマンエラーを起こす前に動作の誤りに気づき、修正できる。指差と喚呼動作が脳を刺激しぼんやりしにくくなる。などといった特徴があります。JR東日本では事故防止の基本動作であるこの「指差喚呼」をとっても重要視しており、新入社員訓練や乗務員養成研修等では必ず実施し、徹底して定着させているそうです。

府中療育センターでも事故防止のために、指差と声だしによる確認を行っています。しかし、今回の研修で、JR東日本での徹底ぶりについて聞くことで、その重要性を再度認識することができました。また、その他にも、事故のマネジメント制度や言い間違いや聞き間違いを防ぐための確認会話、危険に対する忠告に対して、忠告してくれた人に「教えて下さりありがとうございます」といった感謝を表す「セーフティコール・ありがとうございます運動」などといった取組みについてもうかがい、自分たちの職場でも活用できるようなとても参考になるものがありました。

今回の研修では、丸山先生から、自分たちの仕事が「お客様の命」をお預かりする仕事という強い認識をもっているというお話がありました。私たちにとってもまさに命を守ることが職務です。是非この研修の学びを生かしていきたいと思えます。





夏祭り特集



保育士 黒田 桂子

1-B病棟 ～納涼会「美しきお化けたち」～
7月15日(火)に納涼会を行いました。

1-Bで初めての「お化け屋敷」でしたが、1週間ほど前から日中活動の中で制作活動としてお化けの絵カードを蛍光の絵の具で描き、少しずつ納涼会に向けての気持ちを盛り上げました。

15日当日は、病棟内の全てのカーテンを閉めて、電気を消して…ベッドルームの一角をカーテンや鏡で仕切り、上からみんなで作ったお化けのカードや風船・光る棒等をぶらさげてブラックライトを所どころに設置し通路を作りました。参加者は、暗い入り口を入るとまず、冷たい霧が顔に振ってきて「ヒヤリ!」、次に通路のどこからか猛犬のいびきが聞こえてきて…狭い通路の入り口でぶら下がっている光る棒をゲットしていよいよお化けたちが漂う中に入っていきます。途中で指導科職員の応援お化けが飛び出してきて「ドキリ!」…ようやく出口が見えたところで、白装束の白い顔のお化けが鏡の壁の裏から出てきて「♪～お化けの世界にようこそ～」とみんなの顔に冷たく白い「潤い美肌フェイスマスク」をペタッと貼り付けます。

夏の日の一と時、みんなでお化け屋敷と、潤いツツルお肌の顔を堪能しました。



お化けの絵カード



潤い美肌フェイスマスクをペタ!

2-A病棟 ～夏祭り「武蔵国府太鼓響会・太鼓演奏」～

保育士 中島 千絵



今回も季節行事として招待観劇を行いました。夏祭りも様々な所で行われますが、祭囃子や太鼓演奏を聴きに行く機会はなかなかありません。そこで今回、お囃子や太鼓演奏を招待観劇で楽しむことにしました。けれど7月18日(金)に来てもらえる団体がなかなか見つからず、府中市役所の方にも探してもらいました。唯一「できます」と声を挙げていただいたのが、「武蔵国府太鼓響会」の皆様でした。

あじさい館に集まりいつもと違う雰囲気の中、期待と緊張で演奏を待ちます。最初の一打にみな「ハッ」と息を飲み込んだようでした。まさに「腹に響く音」であり、そこからダイナミックで迫力ある演奏が始まりました。リズムに合わせて身体を動かし笑っている人、ジッと視線を向け全身でリズムを刻んでいる人。「おっおっ」と合いの手のように発声をする人、それぞれが様々な表情で太鼓演奏を体感していました。曲紹介もしてもらい、招待観劇ならではの“特別な演奏会”を楽しむ事ができました。

5-A病棟 ～夏祭り「フラフラガールズ」～

保育士 上野 聡子



今年度5-A病棟の夏祭りは、南国をイメージしました。7月17日(木)、活動で制作したハイビスカスを天井に飾り、ダンボールで作った椰子の木に新聞を丸めた椰子の実を实らせ、利用者一人ひとりにはすずらんテープで作った腰みのをまってもらいました。夏の歌を歌い祭りに向けての気持ちを高め、いよいよフラフラダンスの始まりです。みんな音楽が聞こえてくると思い思いの踊りを踊り、次第に笑顔になる利用者が増えていきました。ダンスの後には「幸せになれるなぞなぞ」を行い、またまたみんなで盛り上がりました。今回の夏祭りはみんなの笑顔がたくさん見られた夏祭りでした。

みんなでフラフラダンスを踊りました!



プール開き

指導科 橋本 則子



竜王様によるエアスイミング

7月16日（水）、毎年恒例の指導科主催のプール開きが行われました。当日は梅雨の晴れ間となり、うだるような暑さでしたが、大勢の利用者さんと職員が参加してくれました。

今年のテーマは『うらしまたろう』。まずは、全員での手遊び、歌の後、みんながよく知っている浦島太郎のお話をセンター向けにアレンジした小芝居が始まりました。丘の上病院の亀池で、カラスにいじめられていた亀さんを助けた浦島太郎が、亀さんに竜宮城へ案内されます。色とりどりの風船で飾られた竜宮城では、ピンクの衣装と、きれいな布をひらひらさせた指導科ダンサーズが、『島人ぬ宝』に合わせて歓迎の舞を披露しました。その後、いよいよ院長扮する竜王様の登場です。竜王様は、エアスイミングの披露と竜宮プールの安全祈願をして下さいました！

最後は、『輪になって踊ろう』をバックミュージックに、参加者全員と一緒に風船飛ばし。「3、2、1、Go!」の掛け声と共に、1階～5階から一斉に風船を飛ばします。フライングや屋根にひっかかってしまったものもご愛嬌。青い空にカラフルな風船が吸い込まれていく景色は本当にきれいで、夏の始まりを感じさせてくれました。

みなさん、この夏、竜宮プールを楽しんでくださいね。



竜宮城へ向かう亀さんと浦島太郎



指導科ダンサーズによる歓迎の舞



全員で風船を飛ばしました！！

1-B利用者さん 演歌リサイタル！！

事務室 栗原 拓



リサイタルの様子

6月26日（木）通所Lホールにて1-B病棟利用者Yさんによる、演歌のリサイタルが行われました。

当日は多くの病棟からリサイタル開催の情報を聞きつけた利用者さん、職員が会場に集まり、Lホールに入りきらず、外から歌声を聴いている方もたくさんおられました。

会場のLホールはきれいにライトアップされ、中央でこの日のために用意された美しい衣装をまとったYさんが、「氷雨」「みちのくひとり旅」など日ごろの練習成果を披露されました。

周りの職員からの歓声や手拍子、さらに、成田空港からかけたという設定で1-B病棟利用者の木村陽子さんの参加もありリサイタルは大変な盛り上がりを見せました。

平成26年度 第1回交通安全講習会

事務室 栗原 拓



講習会の様子

7月7日(月)、あじさい館多目的室において平成26年度第1回交通安全講習会が行われ、府中療育センター職員74名と多摩療育園職員3名が参加しました。

講習会は府中警察署員の方を講師にお招きし、前半は危険予測に関するDVDの視聴、後半は講師の方による講話という内容でした。

危険予測のDVDでは、実際に事故が起きた際、ドライブレコーダーに残されていた映像等を視聴し、どこに危険が潜んでいるかを学習しました。右折待ちをしている車や路上駐車をしている車などにより、対向

車や歩行者が見えず事故が起こってしまうケースがいくつもあり、そういった場面が道路上であれば、ドライバーはもちろん、歩行者や自転車運転者であっても細心の注意を払わなければならないと感じました。また、子供や高齢者の視野の広さや判断能力などの身体的特性についても説明があり、自動車、自転車を運転する際は気を付ける必要があると感じました。

後半の講話では主に、府中市内の事故発生状況について講師の方から説明がありました。DVDの映像にもあったように、交差点などでの前方不注意による事故、お年寄りが巻き込まれる事故が非常に多く、やはりこういった場面では注意を払う必要があると感じました。また今年には特に、交差点で大型車の巻き込み事故が多く発生しており、大型車ドライバーにも注意するよう依頼をしているが、歩行者等も十分注意してほしいとのことでした。

この講習会で学んだことを活かし、自動車、自転車を運転しているときはもちろん、道路を歩行している際にも十分に気を付け、交通事故を防止していきましょう！！

くぬぎ分教室社会見学Ⅰ

くぬぎ分教室 伊東 宏一

6月25日(水)にくぬぎ分教室社会見学Ⅰが行われ、多摩六都科学館へ行ってきました。世界一の大きさを誇るプラネタリウムの鑑賞は圧巻で、生徒は見えや聞こえの変化に気付く度に、臉の開き具合を変えて驚きや関心を表現していました。昼食後は館内のいろいろなコーナーを見学しました。「鏡の間」や「音の実験室」などでは「ん?」「おや?」の表情が続出、場所や状況が変わっても普段通りの力を存分に発揮して一日を楽しく過ごすことができました。

医師、看護師、保護者の方の付き添いやご協力があって社会見学を実施することができました。ありがとうございます。



昇降機も体験できました！ 私がたくさん！鏡の間！

お詫び

先月号(339号)の1面の「第56回日本小児神経学会学術集会に参加して」の記事に誤りがありました。18行～19行目「English Section」は正しくは「English Session」となります。申し訳ありませんでした。

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>